静岡新聞で学ぼう

静岡新聞

Newspaper in Education

大自在

〈一ねんせいになったら／一ねんせいになったら／ともだちひゃくにんできるかな〉。出会いの春まであと少し。きのう静岡市内で開かれた「ご入学おめでとう大会」で、４月に小学校に入学する子供たちが、まど・みちおさんの歌を大合唱した▼詩人まどさんの名前を知らなくても、「一ねんせいになったら」「ぞうさん」などの代表作を歌ったことがないという人は、いないのでは。詩集を開くとほっとして、優しい気持ちになれる。そんな魔法の言葉を晩年までつむぎ続け、先月28日、１０４歳で天寿を全うした▼大人も口ずさむ、まどさんの歌。山本直純さん、団伊玖磨さんら日本を代表する作曲家が曲を付けた。詩に心地よいリズムを感じていたに違いない。皇后さまが英訳した詩集などが評価され、国際アンデルセン賞作家賞を日本人で初めて受賞した▼「ほんとうに無垢で、子供のつぶやきを聞くようだ」。俳万智さんのこんな評を見つけた。子供の心を共感させた証しなのか。まどさんの詩を読んだ子供が自作として投稿し、放送局の特選に選ばれたこともあるそうだ▼それを聞いたまどさんは「子供は好きな詩を自分のものと思い込んでしまうようなことがありましてね。それを責めるのは、とても酷な感じがします」と話していた―。こんな回想を先日亡くなった選者の吉野弘さんが残している▼「自分の好きなことを選んでね、その道をどんどんすすんでいただきたい」。２０１０年に著した「百歳日記」で、子供たちに呼び掛けたまどさん。高いところから見守ってほしい。

2014.3.2

２０１４年３月２日朝刊　１面

① まど・みちおさんは何歳（さい）で亡（な）くなりましたか。

（　　）歳（さい）

② まど・みちおさんが作詞（さくし）した歌を歌ってみましょう。

◎一ねんせいになったら
◎ぞうさん
◎やぎさんゆうびん
◎ふしぎなポケット
◎ドロップスのうた

③ まど・みちおさんの歌を歌うと、どんな気持ちになりますか。

④ あなたも好きなものについて、作詞（さくし）してみましょう。食べ物、動物（どうぶつ）、スポーツ、友だち、なんでもかまいません。自由に書いてみましょう。

年　　組　　名前

（小学校中学年以上　国語・音楽・総合）